



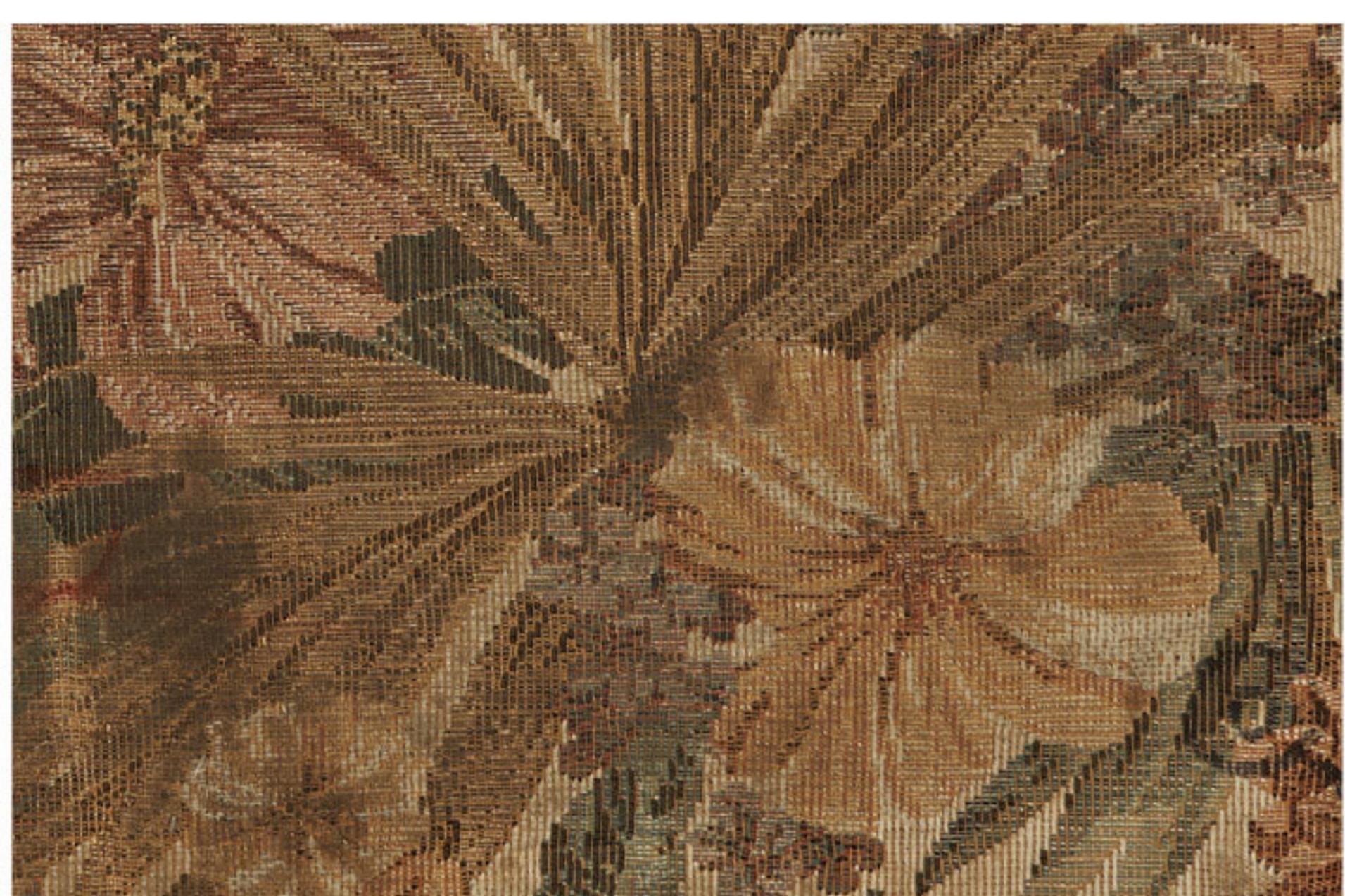
更に(自己責任で)落とす方法

ポリエステル 100%、アクリル 100%、ポリプロピレン 100%またはこれらの混合のみ可。

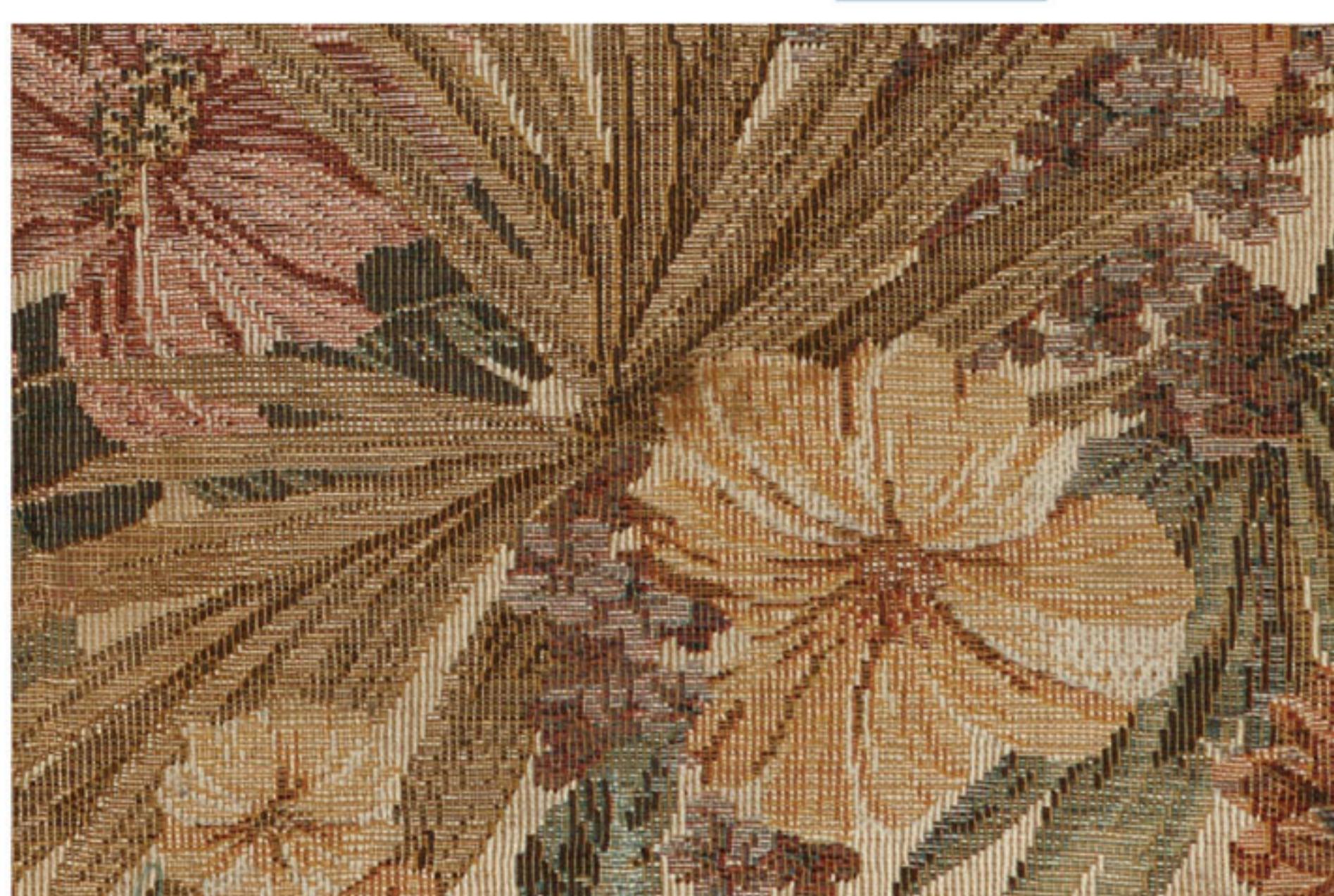
- ・生地を傷めるのでお勧めしませんが、それでも綺麗にしたい場合のみ自己責任で作業をしてください。

B アルカリ性洗剤(例:セスキ炭酸ソーダ、重曹) [手垢、油分等]

汚れた布 (汚れレベル)



汚れを落とした後 2級



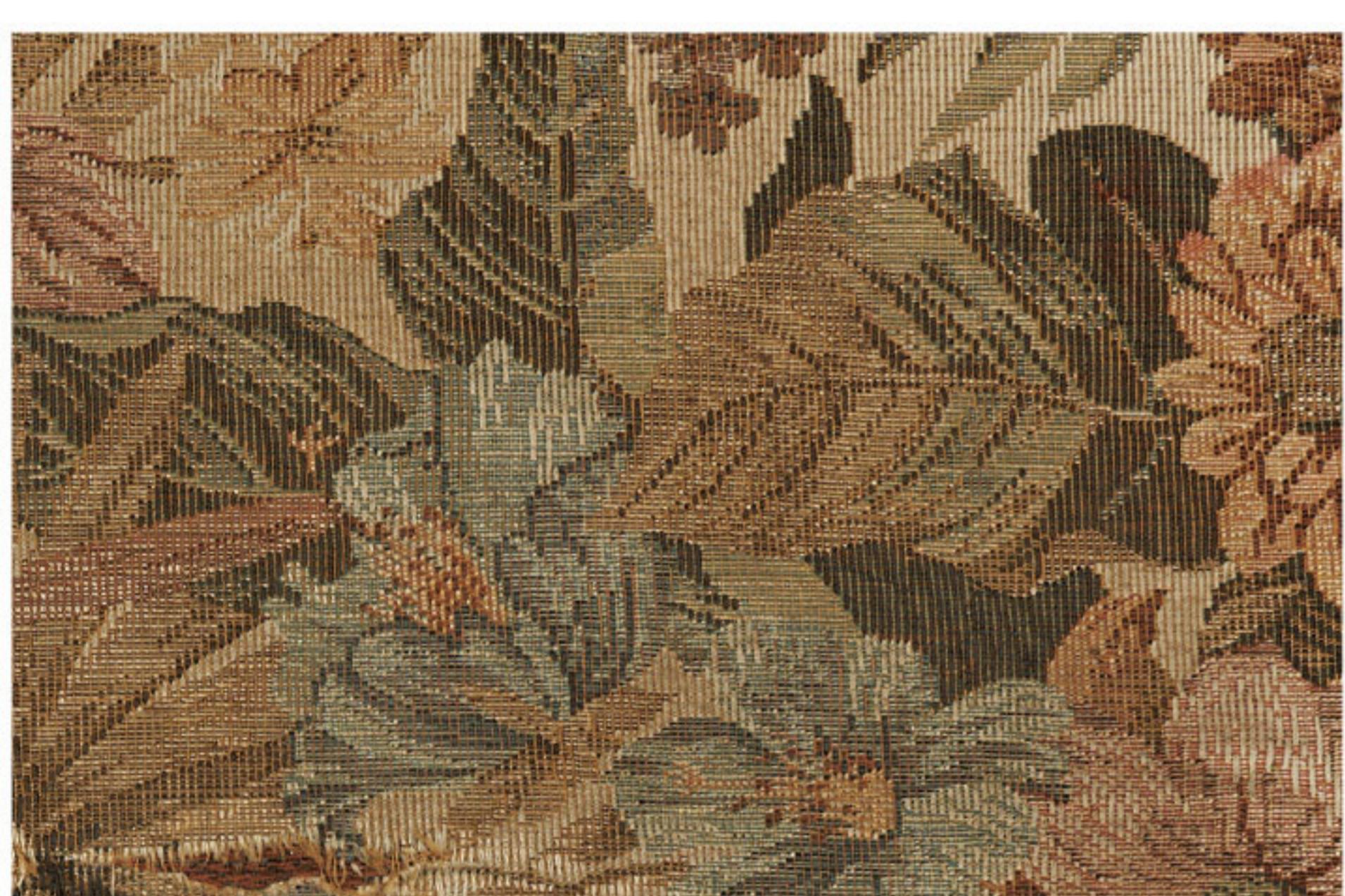
「汚れの落とし方」を施行の後、
③の中性洗剤を
アルカリ性洗剤に変え、
③～⑤の作業を行う。
その後洗剤が残らないようにとる為、
お湯のみで③、④を繰り返し、
⑤の作業で乾かす。

混ぜるな
危険

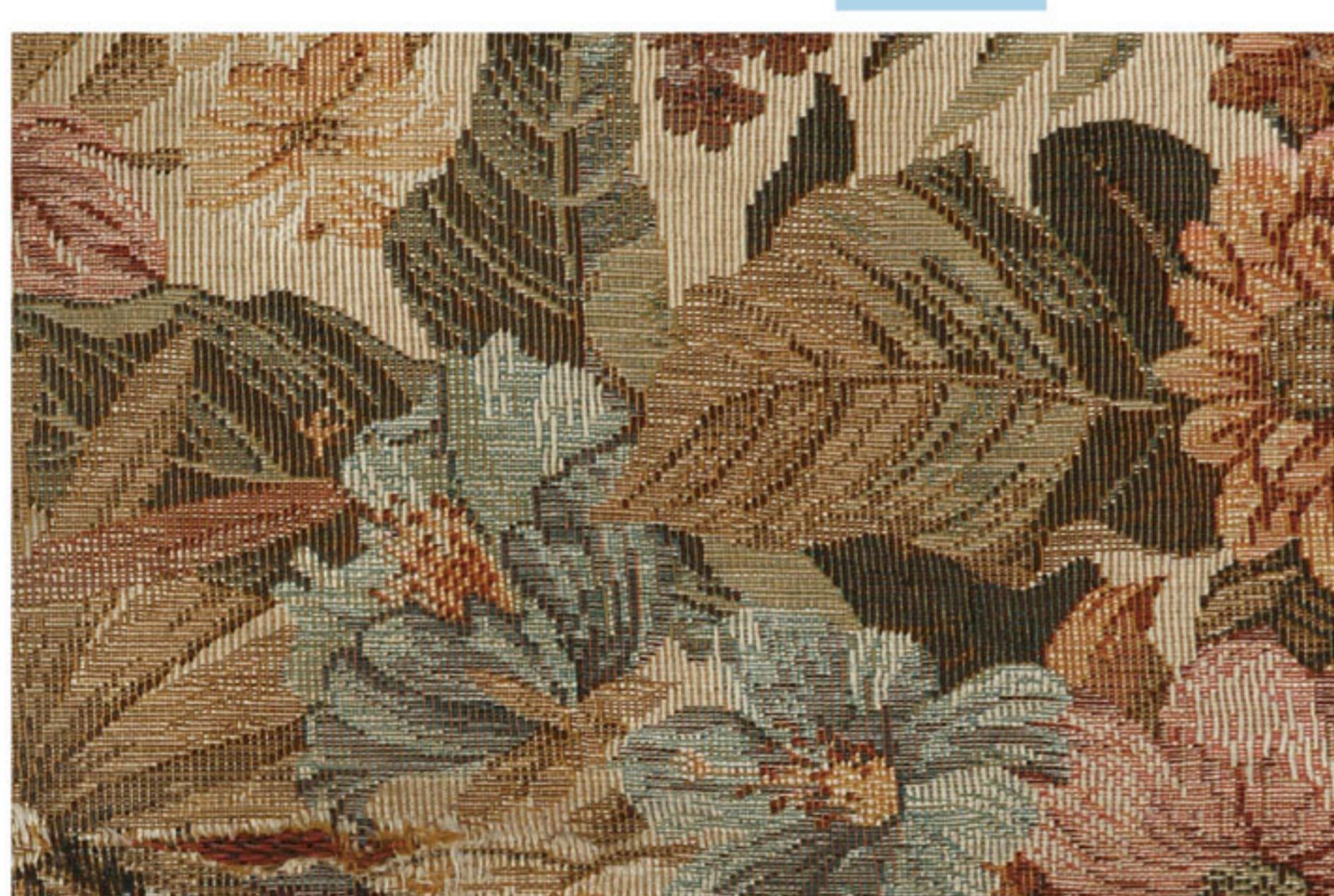
B の後に **C**、または **C** の後に **B** を行うと有毒ガスが発生するので注意!!

C 酸性洗剤(例:クエン酸) [尿等]

汚れた布 (汚れレベル)



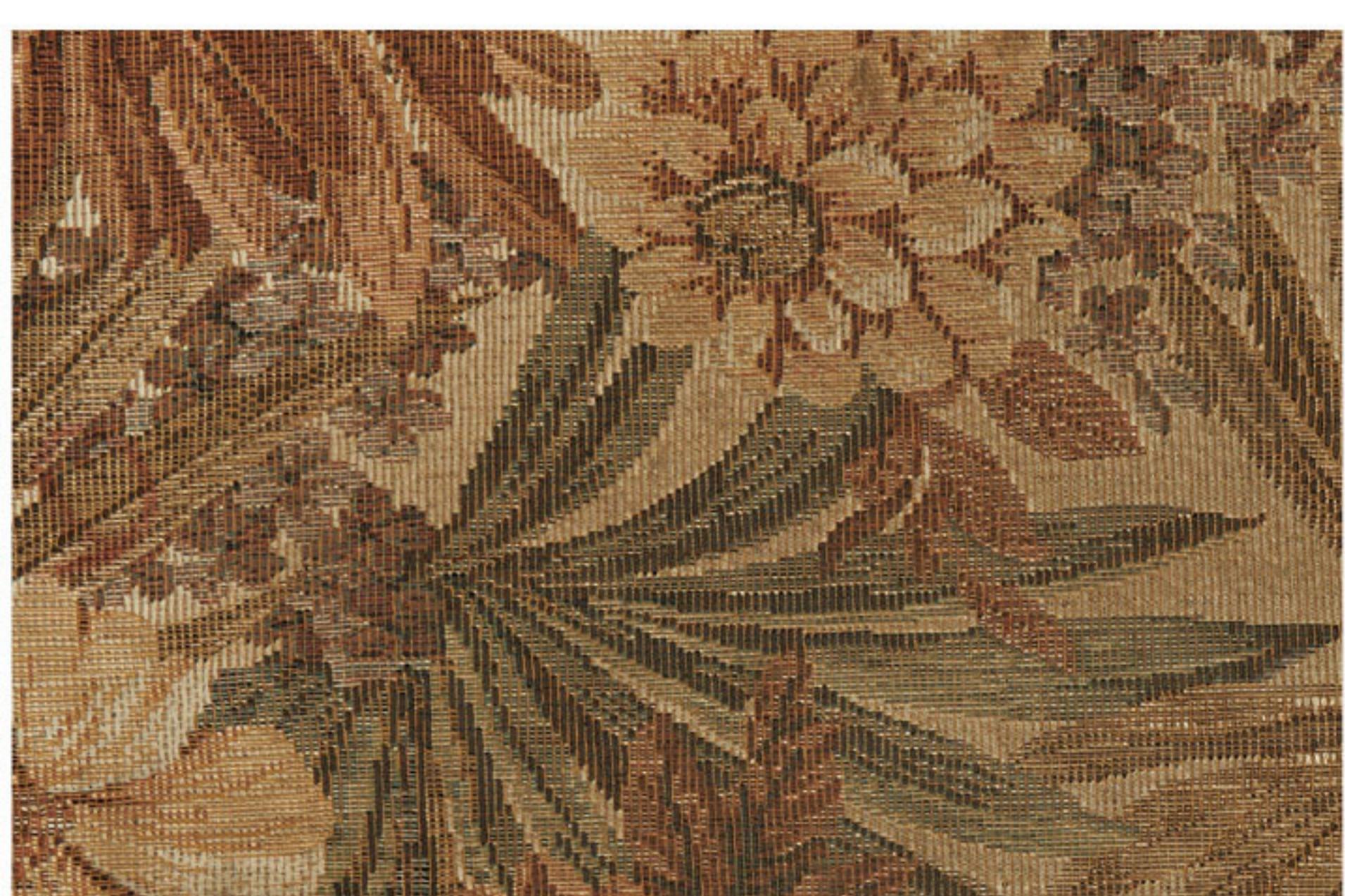
汚れを落とした後 3級



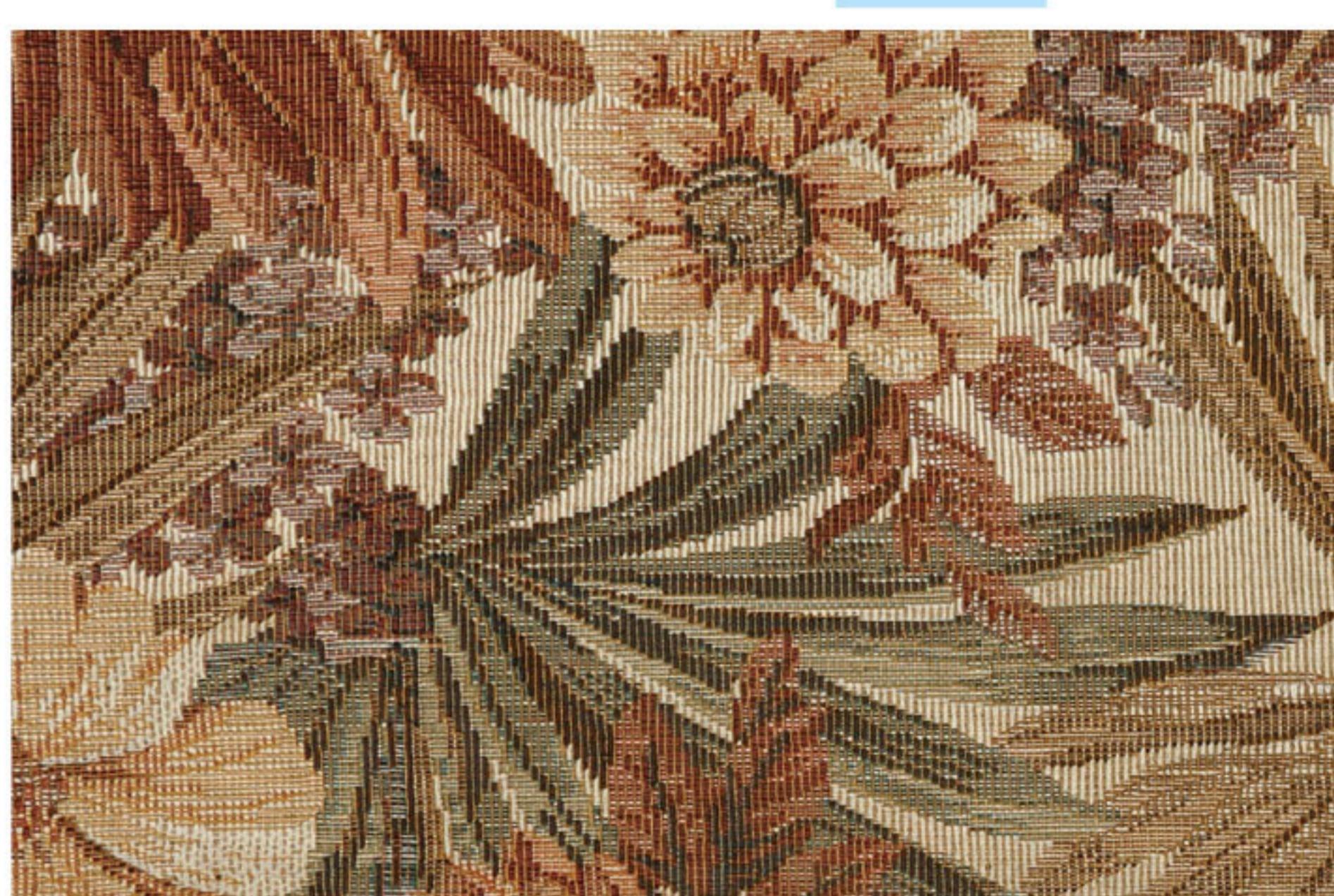
それでももう少し落としたい場合は
1週間のち乾燥後③の
中性洗剤を酸性洗剤に変え、
B 同様③～⑤の作業を行う。
その後洗剤が残らないようにとる為、
お湯のみで③、④を繰り返し、
⑤の作業で乾かす。

D 酸素系漂白剤 [除菌、消臭]

汚れた布 (汚れレベル)



汚れを落とした後 4級



おすすめは致しませんが、
更に汚れを落としたい場合は、
酸素系漂白剤を使い、
③～⑤の作業を行う。
その後漂白剤が
残らないようにとる為、
お湯のみで③、④を繰り返し、
⑤の作業で乾かす。

- ・どの⑤、⑥においても、しっかり乾燥をさせてください。カビや臭いの原因となります。

洗剤の選定・使用順例

汚れ種類	汚れのPH	対応洗剤種類
全て	中性	中性洗剤
油分・皮脂・手垢	酸性	アルカリ性洗剤
尿・垢	アルカリ性	酸性洗剤
除菌・消臭	漂白	酸素系漂白剤

※洗剤は、汚れの種類と反対の成分を持つ洗剤を使用し
汚れを浮き上がらせる。

※セスキ炭酸ソーダ・クエン酸・重曹は、水溶液にして
汚れに噴射すると効果が高い。

※酸素系漂白剤は、60°C以上のお湯に溶かして使用すると
漂白効果が高い。

汚れかどうかご確認ください

- ・汚れではなく経時変化による色変化の場合が多くありますので、落ちない場合があります。
- ・生地は必ず乾燥させてください。各種洗剤を混ぜると有毒ガスが発生します。

汚れの落とし方 PDF

